

3月議会 久永かずえの一般質問 教職員の命を守る多忙化の解消について



久永かずえ議員は、常態化する教職員の多忙化は子ども達への豊かな教育に直接影響するとして、これまで労働時間の把握・仕事量の軽減について取り上げてきました。今号は3月議会の一般質問の一部を報告します。

その後、会議や業務を行います。

そのため、通常は休憩なしの11時間労働の上、土日も部活動の練習や対外試合でほとんど休みがとれず、時間外労働が月に140時間以上の教職員が多くいます。

久永議員は、安全衛生委員会がどのように機能しているか、教育委員会の対策について一般質問で取り上げました。

教育長答弁 教職員の多忙化は重要な課題と認識 教育長の答弁

教職員の多忙化の問題は、大変重要な課題だと認識している。これまでも会議の精選、調査の依頼などの書類作成の合理化・簡素化、研修や行事の見直しに取り組み、各種支援員などの配置を行ってきた。校長会議でも教職員の健康管理について指導している。

この1月には、市内の中学校長に部活動について「生徒の健康並びに顧問の健康と在校時間の縮減に配慮し適切に取り組むよう」に指示をした。

久永教職員の労働時間の把握は、休憩取得の有無など実態に合わせて記入がされているか？

答 学校教育法では、校長が教職員を監督する職務がある。出勤簿は、出勤時に出勤時間を入力、退勤時に退勤時間を入力し、教職員全員が毎月提出している。

久永 超過勤務が月45時間以上になると健康障害のリスクが高まる。市内の小中学校でこの対象となる教職員の延べ人数はどれだけか？

答 昨年、4月から今年1月までの10か月間で、9小学校計1530人、4中学校で計964人。

久永 超過勤務が月80時間、100時間以上の教職員が常態化している実態をどう認識しているか？

答 支援を要する児童・生徒の増加や多様

化する保護者要望、さらに部活動指導棟の対応で、従来放課後に実施できていたノート点検や翌日の授業等の準備が遅くなるなどの影響が出ている。

◆日本共産党の追求で法にそった「安全衛生委員会」が設置され、教育委員会もこれまで以上に多忙化解消に向けて努力されていますが、根本解決には至っていません。

小泉政権時に行われた規制緩和で、正規教職員給与の予算を臨時教員に使えるようにしたため、臨時教員が急増しています。それも多忙化の大きな要因です。引き続き、正規の教職員の増員、授業の準備など本来の業務ができる環境整備を国・県・大府市に求めてまいります。

無料法律生活相談

〓弁護士が対応します〓
次回は5月13日(水)
午後6時半〓

どんなことでもお気軽に、
いつでもお電話ください。

- 山口広文 (47) 3774
- 久永かずえ (44) 3245
- 森山まもる (44) 0205
- 細川ゆうじ (47) 6027

平均的な時間外労働 なんと月140時間！

中学校の教職員は生徒たちの担任はもちろん、何らかの部活動の顧問も受け持っています。下表のように授業が始まる前の「朝部」、授業をこなし、夕方の部活が終わってからやっと休憩をとる、

